

学校だより しおやき

学校教育目標

未来を拓く力の育成

体を鍛え、書を読み、心を耕す

【めざす子どもの姿】

- ① らべ、読み、考える子
- ② もいやりのある子
- ③ りとげる子
- ④ たえる子



～希望の登校、笑顔の下校～

市川市立塩焼小学校 児童数 843 名 (11 月 1 日現在)
 令和 3 年 1 月 1 日 (月) 発行
 TEL 047-397-1231 FAX 047-397-1232

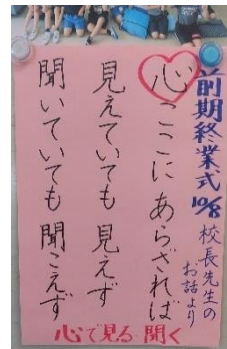
心 ここに在らざれば・・・

校長 杉本 雅彦

緊急事態宣言が明けて約 1 か月が経ちました。ここ最近の少ない数で推移する感染者数を見ると、「学校においてより多くの教育活動を経験させられる。」と意欲が湧いてきます。後期に入ってから通常授業に加え、研究授業や校外学習、ゲストを招いての体験授業など学習の幅が広がりました。今後も油断せずに、学校・家庭双方において感染対策を継続し、安心できる日常を送っていきましょう。さて下記の言葉は、10月8日の前期終業式の中で全校に伝えたものです。

こころ あ む み き き
 「心ここに在らざれば 視れども見えず 聴けども聞こえず」

これは孔子の言葉の一部です。精神を集中していなければ、何事も道理はわからず、師の立派な教えも真実の意味を理解できない。よく「集中することが大切だ」と言われるが、だらだらとした態度で、いくら長時間、本や机に向かっても、学問は身につけませんということです。低学年の皆さんにはやや難解な言葉なので、少しかみ砕いて話しました。私は年間を通じて「人の話を聞く」ことを大事にしてほしいと常々伝えています。話が聞けるということは、知識が身に付きます。トラブルも減ります。当然、私達大人も相手（特に子ども）を意識して、心の目で見て、心の耳で聞くことを心がけていきたいものです。▶実はこの言葉には続きがあって、「食えどもその味を知らず」といひます。言うまでもなく、おいしいものを食べても味わうことができない、ということです。今、給食は黙食です。味わって食べるには最適な条件です。今後子ども達や先生方が集中力をより高めた上で、いずれは会話を楽しみながら食事ができるようになることを期待したいものです。



[2年教室ドアの写真]

芸術鑑賞教室 ～和太鼓の響き～

10月22日、創作和太鼓集団「打鼓音」による芸術鑑賞教室を開催しました。音楽や演劇等の文化芸術に触れることは、子ども達の感性を育てるまたとない機会です。特に昨年度見送っていただけに2年越しの開催となって、教職員も楽しみにしていました。感染症対策として、低・中・高学年に分けての3部制にしてもらいましたが、各種和太鼓を組み合わせた力強い演奏に、オープニングから圧倒されました。8人のメンバーによる飽きの来ないプログラムと軽妙な話術、そして体育館の床から体の芯に響く“打鼓音”は素晴らしかったです。自然と湧き上がる手拍子や、思わず体を揺らしてリズムをとる塩焼っ子を見て「開催できてよかった。」と心から思いました。



11月の主な予定

※状況によって変更もあります。

1	月	5年学校支援実践講座交流会	17	水	定例研 13:10 下校
2	火	1年校外学習	18	木	3年校外学習
3	水	(祝)文化の日	19	金	秋まつり前日準備、3年まなびくらぶ
5	金	1年シャボン玉教室、3年まなびくらぶ	20	土	塩焼っ子秋まつり
		5年お米マイスター来校、委員会	22	月	振替休業
9	火	シャッフル読み聞かせ	23	火	(祝)勤労感謝の日
10	水	短縮3校時日課、就学時健診	24	水	1・6年ペア交流、クラブ活動
12	金	4年校外学習、3年まなびくらぶ	25	木	6年市内音楽会撮影日
16	火	オレンジリボン集会	26	金	不審者対応訓練、1年生引き渡し訓練

6年修学旅行 ～日光の自然と史跡を満喫～

10月25日・26日、6年生と共に日光へ修学旅行に行ってきました。8月の下見段階では、宿泊を伴う学校行事は厳しい見通しでした。それだけに、無事実施できた喜びはひとしおです。東照宮を中心とした史跡を見学した後は、奥日光の大自然に触れて紅葉を満喫してきました。今回の修学旅行に向けて、6年生は実行委員会を立ち上げ、子ども達が主体的に取り組む校外学習を目指しました。最高の思い出となるように、自分達で旅のルールを決めて臨んでいました。私はこの旅を通して子ども達の成長を感じたことが大きく2つあります。1つ目は、場に応じて考えて行動していたことです。そして2つ目は、周囲への感謝の意を忘れなかったことです。グループ行動やホテルの方への挨拶などにその一端が見られ、大変立派でした。学校のブログにも一部紹介していますので、どうぞご覧ください。感染症対策で健康管理等の配慮をいただいた保護者の皆様に、改めてお礼を申し上げます。



スクールカウンセラーの派遣 ～教育相談で悩み解消へ～



千葉県では、9月から県内各小学校にスクールカウンセラーを月に1回派遣することとなりました。スクールカウンセラーとは、保護者や教職員と連携して、児童生徒が直面している問題の解決を援助し、成長を見守るのが仕事です。具体的には皆さんからの相談にのり、専門的な知識をもとに適切な対応で心理的ケアに取り組むのです。本校には、南房総市から「渡部 聡子(わたのべ さとこ)」さんが派遣されました。すでに2回来校しています。今月から3月まで残り5回派遣予定ですので、面談等ご希望のある方は事前に教頭までご相談ください。[今後の来校予定：11/29、12/9、1/24、2/22、3/1] また、同じように本校のライフカウンセラー(ゆとろぎ相談員)もご活用ください。

2年校外学習 ～成田ゆめ牧場で体験活動～

10月14日、2年生が“成田ゆめ牧場”においていくつもの体験活動をしてきました。サツマイモ掘りで土に触れ、乳しぼりで乳牛に触れ、友達とお弁当を食し、グループで遊ぶなど、昨年経験できなかった校外学習を大いに楽しむことができました。集合時間や公共のルールを守る子ども達を見て、引率の先生方からは「2年生の成長を実感した。」との報告を受けました。うれしい限りです。振り返りや作品づくりなどで、思い出を残す学習へつなげています。



いちかわGIGAスクール構想 ～人をつなぐ、未来へつなぐ～ NO.4 ※家庭とのオンライン実践へ

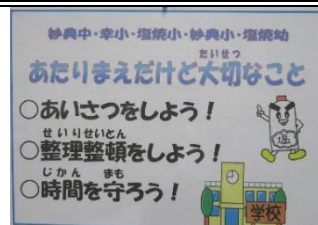


今後のタブレット活用についてですが、けがや病気などの理由で長期に学校を休む場合や感染症拡大にともなう臨時休校時などに、オンラインで学校の教室と家庭をつなぐことができます。実際、本校においても Teams を使って家庭と学校をつないで、黒板や教師を映して、家庭で学習を行った事例もあります。

今後、家庭と学校をつないで、実際にオンラインで会議や授業が成立するかどうか、まずは5、6年生から実践する予定です。その際には、詳細をお伝えしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【お知らせ】

- 「あたりまえだけど大切なこと」・・・妙典中ブロックの校長会において検討しました。幼・小・中の連携、家庭・地域の協力により子ども達に身につけさせたい内容です。皆様も共通理解と声掛けをお願いします。(校内掲示用)→
【・あいさつをしよう ・整理整頓をしよう ・時間を守ろう】



- 「地域学校協働本部」・・・10月8日、妙典中学校において地域学校協働本部が開催されました。各校の学校支援コーディネーターが集結し、市教委の担当課職員と田中校長(妙典小)から、本事業に関する説明を受けた後に、妙典中ブロックの子ども達のために協力できることを話し合っていました。現在各校において取り組んでいる事例を紹介しながら、今後の方向性を出し合っています。
- 「マスク配付」・・・コロナ感染症対策として、市川市より全校児童にマスクの寄贈がありました。不織布マスクを一人当たり5枚配付するのでご活用ください。